



# POWERCABファミリー

POWERCAB 112

POWERCAB 112 PLUS

パイロット・ガイド ▶

特徴	Powercab仕様	
	Powercab 112	Powercab 112 Plus
ピークワット量	250W	250W
スピーカーサイズ	12"	12"
スピーカータイプ	Eminence®による同軸、カスタム製	Eminence®による同軸、カスタム製
スピーカーインピーダンス	8Ω	8Ω
圧縮ドライバー	Celestion® CDX 1-1010	Celestion® CDX 1-1010
圧縮ドライバーインピーダンス	8Ω	8Ω
周波数応答	70Hz-20kHz	70Hz-20kHz
ラウドネス SPL	125dB SPL @ 1m	125dB SPL @ 1m
XLR ダイレクト出力	1	1
コンビネーション入力ジャック	1	2
L6 LINK™/AES/EBU	いいえ	入力と出力
USBオーディオインターフェース	いいえ	はい、ステレオ/出力
メモリー	—	128
画面	いいえ	はい
スピーカーエミュレーション	6	6 (拡張可能)
インパルス応答対応	いいえ	はい
MIDI コネクター	いいえ	はい
外部スピーカー出力	いいえ	いいえ
キックスタンド	はい	はい
重量	15.08kg	16.10kg
寸法 (mm)	567 x 462 x 305	567 x 462 x 305

## 概要

Line 6のアクティブギター・スピーカーシステム® **Powercab 112**をお買い上げいただきありがとうございます。Powercabファミリーに関するこの**パイロットガイド**にはPowercabの特徴と機能が記載されています。

Powercabには、コンパクトで軽量のアンプを求めるデジタルギターアンプモデルのユーザーのために設計されたパワードスピーカーユニットが新たに搭載されています。これにより、フルレンジでフラットな周波数特性を備えた音響再生が実現され、バラエティ豊かなクラシックなトーンとモダンなスピーカーを通して実際に室内で本物のアンプで演奏しているかのような雰囲気を楽しむことができます。さらに、ステージ上でもスタジオ内でも直感的かつ簡単にセットアップと操作ができるように設計されています。

## 特徴:

### Powercab 112 & Powercab 112 Plus

- 12インチ同軸ドライバーは、Line 6による設計とEminence®によりカスタマイズされたものです。
- Celestion® CDX 1-1010Iによる高周波コンプレッションドライバー。
- フルレンジ、フラットレスポンス(FRFR)モード。
- 6「リアルな感触を味わえる」ギタースピーカーモデル。
- 250Wピークパワー、125dB SPL音圧。
- 組み合わせたライン入力 (バランス、6.3mm、TRS、XLR)。
- XLRライン出力。
- ハイパスフィルタースイッチ。
- グラウンドリフトスイッチ

### Powercab 112 Plus

- 追加として組み合わせるライン入力
- L6 LINK/AES イン/アウト。
- デイジーチェーン可能なステレオ構成
- MIDI イン/アウト。
- 128 メモリー
- 明るい、自動調光画面。
- USBオーディオインターフェース機能 (ステレオ、低レイテンシ)。
- 最大128のユーザーインパルス応答に対応

**同梱品:** Powercab 112またはPowercab 112 Plus アクティブギター・スピーカーシステム、パワーケーブル、パイロットガイド、アンブトップ・クイックスターガイド。

## 背景

一般的に、デジタルモデリングギアをステージやスタジオで使用する場合、ユーザーには2つの選択肢があります。従来のアンプに接続して主にそのアンプモデルをエフェクトとして使用する、あるいはスピーカーキャビネットのエミュレーションを使い、フルレンジモニタースピーカーを通して演奏するかのどちらかです。後者のオプションの方がよりシンプルで、録音やPAから流すのには度良いかもしれませんが、ただ録音するためだけのようになり、従来のアンプの感触や弾く楽しさが損なわれます。Powercab 112とPowercab 112 Plusはこの上記、両方の使い方を提供する事でこのギャップを埋めることを目的としています。

## スピーカー

アクティブスピーカーキャビネットのPowercabには、モデルとするギターのシグナルチェーンを忠実に再現するように設計された内蔵電源が備えられています。キャビネットには、同軸構成でマウントされた1インチの高周波圧縮ドライバーと12インチの低周波ドライバーが搭載されています。このスピーカーシステムは以下の明確な概念に沿って慎重に設計されています。PAのように大音量を均一に出力しながらも、ギタースピーカーの速い、またはタイトな過渡応答と自然なブレイクアップを提供すること。この目的を達成するために、我々はEminenceとCelestionによる構成要素をカスタムドライバーの正確な仕様に取り入れました。

## アンプ

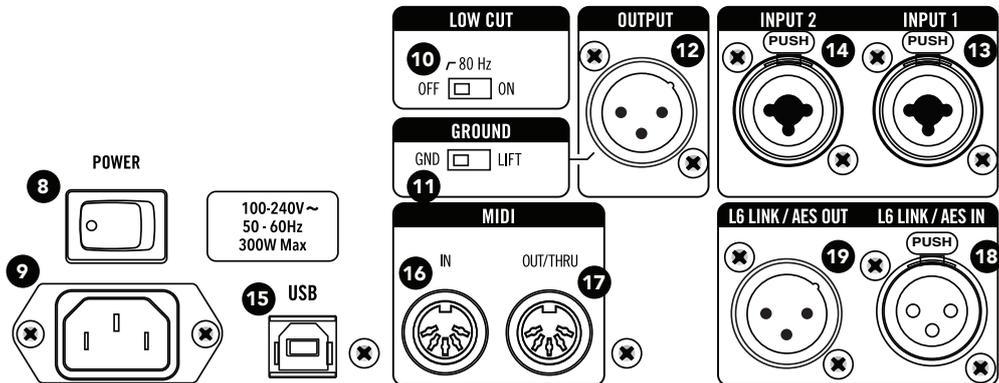
Powercab 112アクティブギター・スピーカーシステムは、250Wを発熱し8Ωで出力する、特別に設計されたクラスDアンプを使用しています。アンプは、最大のスループットと効率性を達成するために、ドライバーへ最適なワット数を提供する、特別に選ばれたものです。控えめな冷却設計は、雑音が多い冷却ファンが不要であり、また、大きなヒートシンクがユニット上に露出されていないことを意味します。

# Powercab 112 Plus - トップパネル・コントロール



- 1. VOLUME ノブ** - パワーアンプからスピーカーシステムへの出力レベルをコントロールします。12時の位置が-6dBのレベルです。
  - 2. SIGNAL LED** - 明るい緑色は入力信号が存在すること、オレンジ色は信号が出力限界に近づいていることを意味し、赤色はデジタルクリッピングを示します。クリッピングが生じた場合は、元となる機器(例:アンプモデリング機器)の出力レベルを下げてください。
  - 3. ホームボタン** - 使い方が分からなくなった場合は、このボタンを押すとホーム画面に戻ることができます。2秒間長押ししてGlobalセッティングへ入ります。「Globalセッティング」参照。
  - 4. バックライト・ディスプレイ** - このバックライトディスプレイがPowercabの全ての機能への窓口です! 画面のバックライトは、何も操作が行われない状態がしばらく経過した後、自動的に暗くなります。
  - 5. SAVEボタン** - 音の設定を変更した際は、このボタンを押してその変更内容を保存し、リネームまたは新しい場所へコピーします。
  - 6. SELECTノブ** - これが、Powercabのパラメーター値やプリセットを変更する際のメインコントロールです。パラメーター値を編集する際は、このノブを押してから任意のパラメーターを選択し、ノブを回して値を変更します。ホーム画面上でこのノブを回すと、プリセットを一巡させることができます。
  - 7. LED リング** - このリングは、現在のメモリーに割り当てられたパラメーターの色で点灯するため、目で確認することができます。
-  **ヒント:** リングの色を遠くからでも確認できるように、好みに応じて色を割り当ててください。LED リングは、何も操作が行われない状態がしばらく経過した後、自動的に暗くなります。

# Powercab 112 Plus - リアパネル・コントロール

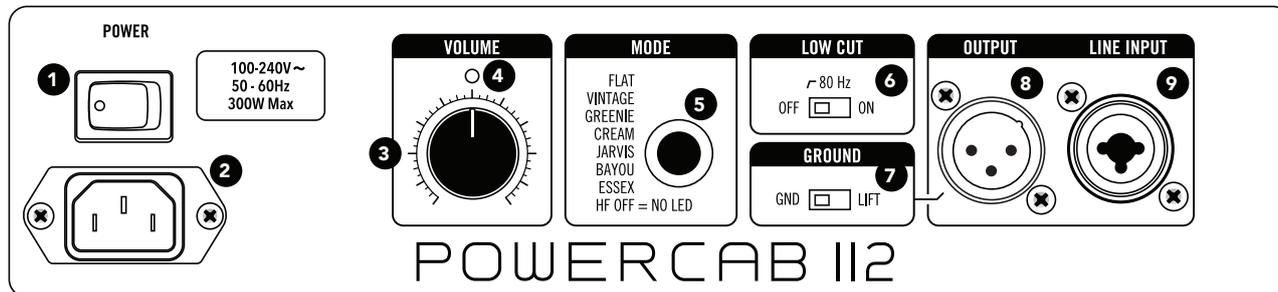


8. **POWERスイッチ** - Powercabの電源をオン/オフにします。
  9. **AC イン** - 同極のIEC電源ケーブルをここに接続します。
  10. **LOW CUT スイッチ** - 80Hzローカットフィルターのオン/オフを切り替えます。不必要なローエンドの振動 (XLRやL6 LINK - AES/EBUの出力信号はこれに含まれません) を取り除く際に便利です。
  11. **GROUND スイッチ** - OUTPUT端子で接地回路をリフトさせるかどうかをコントロールします。不必要なハムを発生させる原因となる接地ループを確認する際に便利です。
  12. **OUTPUT 端子** - アナログミキサーの入力へ接続します。この出力は最大+13dBuのラインレベルです。
-  **ヒント:** このXLR出力は48Vファンタム電源によって影響を受けることはありません。
13. & 14. **コンポ INPUT 1と2端子** - お手持ちのアンプモデラーのラインレベル出力をこれらのバランス6.3mmTRS/XLR入力(例: Line 6 Helix®, POD®等)へ接続します。Helixは**ラインレベル**に設定してください。POD® HDは**+4dB**に設定してください。

アナログのプリアンプペダルの場合、これらの入力(最大+13dBu)に最適なラインレベルが得られるようにするためには、D.I. ボックスを使用する必要があるかもしれません。

15. **USBポート** - Powercab Editソフトを使用してインパルス応答をロードする場合、サウンドのカスタマイズ、バックアップや保存、またはLine 6 Updaterソフトを使用する場合は、MacまたはPCと接続してください。両方とも [www.line6.com/software](http://www.line6.com/software)から無料で入手可能です。
- 16 & 17. **MIDI IN と OUT/THRU 端子** - MIDI機器と接続することで、プログラム変更、コントロールの変更や他のMIDIメッセージの送受信を行います。2台目のPowercab 112 Plusユニットを接続して両方のユニットへパッチ変更を送信します。
18. **L6 LINK, AES/EBU IN** - L6 LINKは、HelixとPowercab 112 Plus機器間のデジタルオーディオネットワークを簡単に提供し、リモート制御も可能です。あるいは、AES/EBU (110Ω XLR) ケーブルでAESに対応するアンプモデラーとデジタルに接続することができます。(「L6 LINK」参照。)
19. **L6 LINK, AES/EBU OUT** - 1台のPowercab 112 Plusともう1台のPowercab 112 Plusを接続すれば、自動的にステレオペアとして設定されます。

# Powercab 112 - リアパネル・コントロール



1. **POWERスイッチ** - Powercab 112の電源をオン/オフにします。
2. **AC イン** - 同梱のIEC電源ケーブルをここに接続します。
3. **VOLUMEノブ** - パワーアンプからスピーカーシステムへの出力レベルをコントロールします。12時の位置が-6dBのレベルです。
4. **シグナルLED** - 明るい緑色は入力信号が存在すること、オレンジ色は信号が出力限界に近づいていることを意味し、赤色はデジタルクリッピングを示します。クリッピングが生じた場合は、元となる機器の出力レベルを下げてください (例:アンプモデリング機器)。
5. **MODE ボタンと LED** - ボタンを押すと、異なるスピーカーモードが表示されます。ボタンのLEDの色が、現在使用しているスピーカーモードを示します。「概要」参照。
6. **LOW CUTスイッチ** - 80Hzローカットフィルターのオン/オフを切り替えます。不必要なローエンドの振動 (XLRやの出力信号はこれに含まれません) を取り除く際に便利です。
7. **GROUNDスイッチ** - OUTPUT端子で接地回路をリフトさせるかどうかをコントロールします。不必要なハムを発生させる原因となる接地ループを確認する際に便利です。
8. **OUTPUT端子** - アナログミキサーの入力へ接続します。この出力は最大+13dBuのラインレベルです。



**ヒント:** このXLR出力は48Vファンタム電源によって影響を受けることはありません。

9. **LINE INPUT コンボ端子** - お手持ちのアンプモデラーのラインレベル出力をこのバランス6.3mmTRS/XLR入力(例: Line 6 Helix, POD等)へ接続します。Helixは**ラインレベル**に設定してください。POD HDIは**+4dB**に設定してください。アナログのプリアンプペダルの場合、この入力(最大+13dBu)に最適なラインレベルが得られるようにするためには、D.I. ボックスを使用する必要があるかもしれません。

## Powercab スピーカーエミュレーション・モード

これらのモードはお手持ちのカスタム1x12キャビネットと接続しながらも、高品質のスピーカーに近い音を再現するために用意されています。我々は、Powercabアクティブギタースピーカーシステムを設計する際、最もリアルなトーンの再現を可能にするために、4x12キャビネットのサウンドをエミュレートするのではなく、むしろハイパワーな1x12キャビネットのようなサウンドの再現を目指しました。これらのスピーカーモードを使用する際は、デジタルモデラーのキャビネットエミュレーションブロックを不可に設定し、正確なスピーカーサウンドと雰囲気はPowercabにお任せください。更なる利点は、これらのモードでは同軸スピーカーシステムの設計により、いかなる配置であっても、従

来のマイクを通じて捕えることができる様々なスピーカートーンが供給できることです。

**FLAT** - (スピーカーエミュレーションを使用しない) この「フルレンジ、フラット応答」モードは、まるで直接PAや、アクティブモニターまたは録音インターフェースに接続しているかのような理想的な効果が得られます。フラットな周波数応答を提供するため、キャビネットのエミュレーションが含まれたギター信号や、音楽やバックトラックの再生に最適です。

**VINTAGE** - 普遍的 Celestion Vintage 30をベース\*としています。皮肉にもよりモダンなトーンに使用されています。

**GREEN** - Celestion Greenback スピーカーをベース\*としています。クラシックなロックのトーンを再現するために、決まってビンテージ Marshall® Plexi アンプとペアで使用されています。

**CREAM** - Celestion G12M-65をベース\*としています。明るくトップエンドが特徴のセラミック C12N をよりハイパワーにしたバージョンです。

**JARVIS** - Jensen® P12Qをベース\*としています。豊かさやクリーンなトーンを求めてか、一般的にFender®アンプとペアで使用されています。

**BAYOU** - Eminence Swamp Thang Patriotシリーズをベース\*にしています。クラシックなアメリカントーンの押しの強いボトムエンドは、ブルースやジャズにぴったりです。

**ESSEX** - Blue Bellスピーカーをベース\*にしています。多くの場合、「チャイミーな」トーンには Vox® アンプとクラス A スタイルのアンプとペアリングされています。

**HF OFF** - これが高周波圧縮ドライバーを不可に設定し、またEQ等のエフェクトも一切かけないPowercabスピーカーのナチュラルな音と質感です。

## Powercab 112 Plusプリセット

メモリーを使うことで、使用しているスピーカーモード(Flat, SpeakerやIR)で構成したスピーカートーン、その識別のための色やパラメーター設定を保存し、リコールすることができます。プリセットを選択する場合は **SELECT**ノブを

回します。プリセットを編集する場合は **SELECT**ノブを押します。L6 LINKやMIDIを使用すればプリセットの選択や自動化することもできます。それぞれのセクションを参照してください。

## プリセット・パラメーター

**MODE** - 3つの対応するモード(Flat, Speakerまたは IR)から選択するか、使用可能なモードパラメーターへアクセスします。

**FLATモード** - 基本的に、フルレンジ、フラット応答、そしてフロント・オブ・ハウスミキサー(ステージの真正面)へ送信される信号と同等です。このモードはプラグ&プレーの互換性に最も適応し、アンプモデラーが全ての役割をこなします。

**Voicing** - スピーカーシステムの最終的なEQ後処理とクロスオーバーの設定を選択します。

**FRFR** - フルレンジな作動を実現させるため、フラットな周波数応答EQの高周波圧縮ドライバーを使用します。

**LF Solo** - EQをかけないウーファーのみを使用して典型的なギターアンプスピーカーのように使用します。

**LF Flat** - フラットな周波数応答のEQで、ウーファーのみを使用します。このボイシングはSpeakerモードに使用します。

**SPEAKERモード** - 本物のギタースピーカーのように反応することを目的としているため、従来の「部屋の中のアンプ」の質感が味わえます。このモードは、以下の3つの調節可能なパラメーターと共に選択したスピーカーモデルの異なるトーン特性をPowercabの同軸ドライバーへ当てます。

**Speaker Model** - どのスピーカーモデルを用いるかを選択します。

**DI Mic Model** - SpeakerモードでXLR出力信号へ当てるマイクモデルを選択します。Powercab 112 Plusアクティブギタースピーカーシステムの正面に選択したマイクタイプを配置した状態に似せることが目的です。

\*本書に記載されている各製品名は各社が所有する商標であり、Line 6との関連や協力関係はありません。これら各社の商標は、Line 6のサウンドモデルの開発中に研究対象となった製品の音質やサウンド識別する目的でのみ使用しています。Celestion は KH Technology Corp.の登録商標です。

Eminence は Eminence Speaker LLCの登録商標です。Marshall は Marshall Amplification Plcの登録商標です。Jensen は Electronics Trademark Holding Company LLCの登録商標です。Vox は Vox R&D Limitedの登録商標です。

**Mic Distance** - シミュレーションさせたマイクとキャビネット間の距離を設定します。

**USER IRモード** - このモードでは、マイクを使用したキャビネットのサウンドを再現する、他社製のキャビネットのシミュレーション・インパルス応答を使用することができます。「インパルス応答」と「Powercab Edit ソフトウェア」セクションを参照してください。

**IR #** - ユーザーIRをメモリーへアサインします。画面に選択したインパルス応答の名称が表示されます。

**Low Cut** - 低音域が強調され過ぎて、くぐもっていたり、ぼやけていますか？ ローカットフィルターをかければクリーンな音になります。

**High Cut** - ギタースピーカーは、一般的にフルレンジ再生システムの範囲以下で良いロールオフが得られます。トーンが荒く耳障りで不自然ですか？ ハイカットフィルターをかけて高い周波数を減減してください。

**Level** - 現在のプリセット量をコントロールし、音の間のレベルを調節して合わせるすることができます。インパルス応答を使用している場合、デフォルトは-18dBとなり、IRファイルに共通したより高い振幅を補います。**FLAT**モードの使用で、最大マージンは0.0dBに設定されます。

**Color** - SELECTノブのLEDリングの色はカスタマイズすることができます。色を設定することにより、Helixや他のMIDI機器でユニットを自動にしたり、離れた位置から操作する場合、スピーカーモデルやインパルス応答のどれを選択したのかを識別するのに便利です。

## インパルス応答

Powercab 112 Plusを利用すれば、128のインパルス応答 (IR) ファイルをインポートして、より多くのスピーカーキャビネットモデルを使用できるようになります。デフォルトにより、優れたインパルス応答の**Line 6 Allure Pack** が既に搭載されていますが、好みに応じて他社の応答を選択してロードすることもできます。HelixまたはPODから、いくつかのDSPユーセージを外し、モデラーにエフェクトを追加するためのスペースを確保するのも良い方法です。

Powercab 112 Plusは、Powercab Editソフトを使用することでインパルス応答をインポートできるようになります(次のセクション参照)。ビット深度、長さ、サンプルレート周波数に関係なく、どんなモノやステレオ.wavファイルIRでもインポートが可能です。一旦インポートが完了すると、その.wav ファイルは

互換性のあるIRプロパティ(48kHz、24ビット、モノ、2048サンプル)へ自動的に適応されます。これは大変便利ですが、期待通りの結果が得られない場合もあり得ますので、インパルス応答としてどの.wavファイルをロードするかは注意してください。SysEXファイルはサポートされていません。



**ヒント:** アコースティックギターアンプのインパルス応答をロードして、その音質を増強させることもできます。ラインレベルの入力信号を接続する際は、適切なインピーダンスを得るためにプリアンプやD.I.ボックスを使用することをお勧めします。

## Powercab Edit ソフトウェア

MacとPC用の無料の編集ソフトウェアPowercab Editを使用することで、リセットのカスタマイズと管理を行い、Powercab 112 Plusへ好みのインパルス応答をロードすることができます。最新のPowercab Edit/バージョンは<http://line6.com/software/>からいつでも入手可能です。

お手持ちのコンピュータへのこのアプリケーションのダウンロードが終了した後、アプリケーションを起動させてインストールの手順に従って操作してください。

Powercab 112 PlusをコンピュータのUSB 2またはUSB 3ポートへ接続し、Powercab Editアプリケーションを起動します。128個のメモリーのリストが表示され、更に全てのパラメータは調整して利用することができます。**[Impulses]**タブをクリックしてインパルス応答の確認と管理を行います。リストの中に.wavファイルをドラッグ&ドロップして、インパルス応答を加える、または特定のスロットを選択して[IMPORT]を押してみてください。

## USB オーディオ

Powercab 112 Plusは、MacまたはPC用のUSB 2.0、低レイテンシ、ステレオ入力/出力、16ビット、44.1kHzまたは48kHz、オーディオインターフェースとしても機能し、更にはiPadとiPhoneモバイル機器のオーディオインターフェースとして使用することもできます。\* 全ての主要DAW ソフトウェアに対応しています。



**\*注意:** iPad & iPhoneモバイル機器との接続には、Appleカメラ・コネクション・キットのUSBアダプター (別売り)が必要です。MacまたはWindows®コンピュータ、Apple iPadまたはiPhone モバイル機器を使用する場合、ドライバーをインストールする必要はありません。(Windows低レイテンシオーディオ性能に関しては「ASIO ドライバー (Windows のみ)」を参照してください。)

USBオーディオ再生の際には、フルレンジスピーカーシステムの性能を発揮させるため、**Flat**モードをお勧めします。

この USBオーディオ機能により、YouTube™、iTunesと共にジャム演奏を行ったり、お手持ちのDAW ソフトの中に高品質なオーディオを録音することができます。DAW ソフトのトラックを構成して、Powercab 112 PlusのUSB 1/2ソースからDAWソフトのトラックを録音する場合、信号がソフトウェアへルートされる前にPowercabのハードウェア出力からの自分の入力を聞いているため、レイテンシゼロのモニタリングでDAWトラック内のから処理済みの信号を捕えることとなります。

## ASIO ドライバー (Windows のみ)

Powercabアクティブギター・スピーカーシステムを、Windows DAW アプリケーション用のオーディオインターフェースとして使用する場合、line6.com/softwareから無料で入手可能な**Line 6 Powercab ASIO** ドライバーをダウンロード及びインストールすることをお勧めします。このASIOドライバーは、PC上でのDAW録音に不可欠な、優れた低レイテンシUSBオーディオ性能を発揮します。Powercab ASIOドライバーを使用する前に、DAWソフトウェアを構成することも必要です。この設定は通常、DAWソフトウェアのプリファレンスの中、またはオプションダイアログで見つかります。ソフトウェアの説明書を参照してください。

## USBオーディオモード

Powercab 112 Plusアクティブギター・スピーカーシステムには、コンピュータまたはモバイル機器のインターフェースとして使用するために、2つの異なるUSB モードが用意されています。これらのオプションは**Global**セッティングからアクセスすることができます (次のセクション参照)。

**Normal** - このモードでは、入ってくるUSBオーディオは未処理のままPowercab 112 Plusのスピーカーシステムへ直接ルートされて再生されます。

**Processed** - このモードでは、入ってくるUSBオーディオは Powercab 112 Plusによって処理されます。**Line 6 Helix Native**プラグインまたは**POD Farm**アプリケーション等のようにアンプモデリング用のコンピュータのオーディオインターフェースとして使用される場合は、より高い柔軟性が加えられます。

## Globalセッティング

これらのグローバルパラメータは、練習、ステージ、あるいはスタジオで使用するかどうか等、特定のニーズに合わせて、**Powercab 112 Plus**を最適化することができます。これらの設定は持続性があり、(自動的に保存されますが)プリセットデータの一部ではありません。

## Input 2 Monitor モードについて

このモードは、ミキシングボードからPowercab 112 Plusの Input 2 へ返す、ボーカルまたは他の楽器を含んでいるかもしれないモニターへの信号を与えるのが目的です。この信号はパワーアンプシステムへ直接送られ、OUTPUT 端子へループして戻ることはありません。

GLOBALセッティング				
ネーム	値	レンジ	デフォルト	機能
Input 1 Gain	dB	0ff, -95.5~+12.0	0.0	INPUT 1用調整可能入力ゲインレベル。
Input 2 Gain	dB	0ff, -95.5~+12.0	0.0	INPUT 2用調整可能入力ゲインレベル。
Input 2 Type	Normal Monitor	—	Normal	<b>Normal:</b> 入力はモノとして処理し、信号はXLR出力を通じてルートさせます。 <b>Monitor:</b> 信号処理は行わず、信号はXLR出力へルートされません。
Link Inputs	Off On		On	両方の INPUT 1 & INPUT 2 ゲインレベルが同じ値に設定されているかどうかを選択します。
MIDI Channel	番号	1~16, Omni	1	どちらのPowercab 112 Plusユニットが応答してMIDI OUT/THRU端子へ送信するかを、MIDIチャンネルで選択します(「MIDI Thru」が「Off」に設定されている場合)。
MIDI Thru	Off On		On	入ってくるMIDIメッセージをユニットへ通すかどうかを決定します。
MIDI PC Receive	Off On		On	このユニットが入ってくるMIDIプログラムチェンジ(PC)メッセージに応答するかどうかを決定します。
MIDI PC Send	Off On		On	ローカルPC チェンジイベントが発生した際に、その都度MIDI PCメッセージを送信するかどうかを決定します(例:ユニットのSELECTノブでプリセットチェンジが行われた場合)。
HF Trim	dB	0ff, -95.5~+12.0	0.0	高周波オーディオを出力する圧縮ドライバーに対する独立したゲインの調整。
USB Mode	Normal Processed		Normal	再生のため <b>Normal</b> を選択します。USBオーディオストリームへ <b>Processed</b> を選択してインパルス応答処理をかけるか、マイクモデリングと共にスピーカーモードかを選択します (「USBオーディオモード」参照)。
Auto Dim	Always On 5 seconds 10 seconds 30 seconds		Always On	操作が行われなかった際のバックライトLCDの減光(秒数)させるかしない(Always On)かを選択し、また点灯ノブの自動減光の動作を選択します。

## L6 LINK

Powercab 112 Plusは、**L6 LINK/AES IN と OUT**端子を使用することにより、簡単なデジタルオーディオ接続でLine 6 Helixモデリング機器と2台のPowercab 112 Plus機器間のステレオペレーションを実現させることができます (110Ω XLRケーブルの使用をお勧めします)。2台の Powercab 112 Plus機器は L6 LINKで連結させることができます。ステレオ L6 LINKまたはAES信号は分割されて、左チャンネルは1台目のユニットへ、そして右チャンネルが2台目のユニットへ送信されます。L6 LINKで1台のみ接続されている場合、L6 LINKまたはAES信号はモノに変換されて機器へ送信されます。

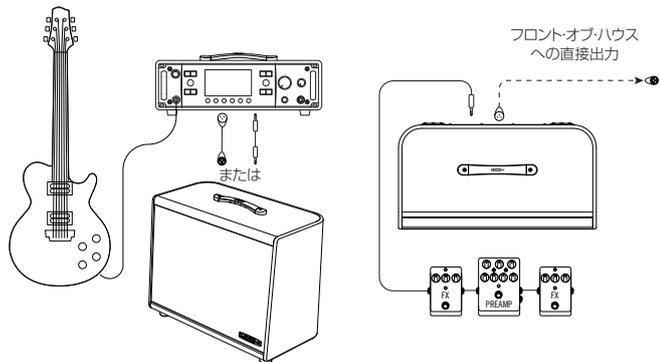
## L6 LINK と Helix

詳細に関しては、<http://line6.com/support/manuals/>から入手可能なHelixオーナーズマニュアルを参照してください。

## 対応可能な構成

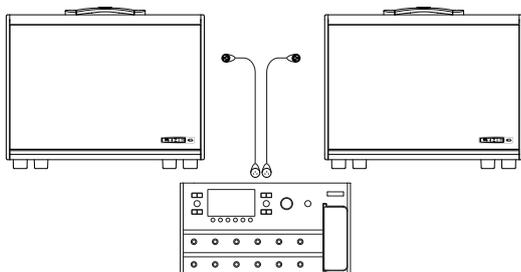
### Powercab 112 モノ・セットアップ

モデラー機器を使用する場合は、6.3mmまたはXLRオーディオケーブルでモデラーのモノ出力とPowercab 112の入力を接続してください。ペダルを使用する場合は、6.3mmオーディオケーブルでペダルとPowercabを接続してください。ダイレクト信号は PowercabのOUTPUT端子を使用してPAまたはミキサーへ送信してください。



### Powercab 112 ステレオ・セットアップ

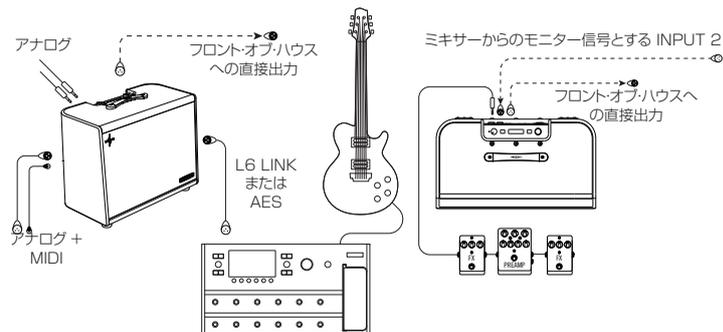
モデラー（またはステレオ・エフェクト機器）の左右アナログ出力をそれぞれ2台のPowercab機器へ別々に接続します。



### Powercab 112 Plus モノ・セットアップ

モデラー機器を使用する場合は、6.3mmまたはXLRオーディオケーブルでモデラーのアナログモノ出力とPowercab 112 Plusの入力を接続してください。あるいは、L6 LINKまたはAES/EBUを使用してデジタル接続してください。\* ペダルを使用する場合は、6.3mmオーディオケーブルでペダルとPowercab 112 Plusを接続してください。MIDIコントローラ機器を離れた位置から使用する場合は、PowercabのMIDI IN端子へ接続してください。

ダイレクト信号は Powercabのアナログ XLR出力を使用してPAまたはミキサーへ送信してください。オプションとして、Powercab 112 Plusのコンボ INPUT 2端子を使用すれば、ミキサーからモニター信号を受信することができます。

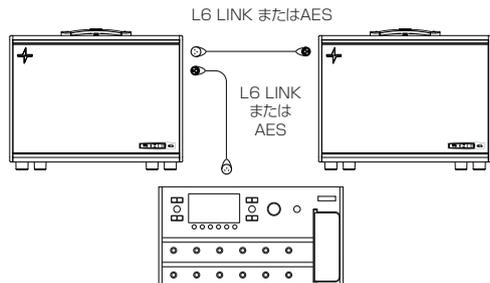


 **\*注意:** 全てのL6 LINKとAESの接続に、A 110Ω タイプのXLRケーブルを使用してください。

## Powercab 112 Plus ステレオ・セットアップ

2台のPowercab 112 Plus機器でステレオを構成する場合は、前述の「Powercab 112 ステレオ・セットアップ」セクションに記載されている、同じ指示に従ってください。

L6 LINKまたはAESで接続している場合、モデラーからPowercab 112 Plusの L6 LINK OUT 端子と2台目のPowercab 112 Plusの L6 LINK INを追加接続することができます。これにより、各Powercab 112 Plusへ別々にオーディオとリモートコントロールデータを送信することができます。



## AES/EBU

Powercab 112 Plusはまた、48kHzサンプルレートのデジタルAES/EBU信号を受信することができます。チェーンで1台目のPowercabによって AES信号が検知されると、そのチェーン信号を分割し、左チャンネルは1台目のPowercabまたはLine 6 StageSource®スピーカーへ、そして右チャンネルが2台目のユニットへ送信されます。PowercabまたはStageSource 1台のみが接続されている場合、AES/EBU信号はモノに変換されて1台の機器へ送信されます。

## MIDI

### MIDI プログラムの変更

Powercab 112 Plusは外部MIDI機器(またはUSB経由のMIDIソフトウェア)からの従来のMIDIプログラムチェンジメッセージにตอบสนองし、プリセット000~127を適宜にリコールします。



注意: どちらのPowercabがMIDIを送信または受信させるかをMIDIチャンネルで構成する場合は、**Global > MIDI Channel**パラメータ (MIDIチャンネル 1はデフォルト) を使用してください。

### MIDI コントロールチェンジ・メッセージ

以下の表に記載されているように、Powercab 112 Plusにはグローバル機能とサウンド編集用に特定のMIDIコントロールチェンジ・メッセージが確保されています。

MIDI コントロールチェンジ(CC) - Global 機能		
MIDI CC	値	機能
1	0~127	Input 1 Gain
2	0~127	Input 2 Gain
3	0~63: Normal 64~127: Monitor	Input 2 Type
4	0~63: オフ 64~127: オン	INPUT 1 & INPUT 2ゲインレベルをリンクさせます。
5	0~127	HF Trim レベル
6	0~63: Normal 64~127: Process	USB Mode
7	0~127	Powercabのマスターボリュームレベル

MIDI コントロールチェンジ(CC) - プリセット編集		
MIDI CC	値	機能
20	0: Flat 1: Speaker 2: IR	現在のプリセットのモードを選択します。
21	0: FRFR 1: LF Solo 2: LF Flat	現在のプリセットのボイスングを設定します。(適用可能な場合)
22	0: Vintage 1: Green 2: Cream 3: Jarvis 4: Bayou 5: Essex	「Mode」が「Speaker」に設定されている場合、Line 6スピーカーモデルを選択します。
23	0: 57 Dynamic 1: 409 Dynamic 2: 421 Dynamic 3: 30 Dynamic 4: 20 Dynamic 5: 121 Ribbon 6: 160 Ribbon 7: 4038 Ribbon 8: 414 Cond 9: 84 Cond 10: 67 Cond 11: 87 Cond 12: 47 Cond 13: 112 Dynamic 14: 12 Dynamic 15: 7 Dynamic	「Mode」が「Speaker」に設定されている場合、OUTPUT端子にマイクモデルを選択します。
24	0~22	1インチから12インチまでの間でマイクの距離を設定します。(0.5インチ単位)
25	0~127	「Mode」が「User IR」に設定されている場合、ユーザーインパルス応答を選択します。
26	0~127	プリセットの「Low Cut」パラメータ値を設定します。

MIDI コントロールチェンジ(CC) - プリセット編集		
MIDI CC	値	機能
27	0~127	プリセットの「High Cut」パラメータ値を設定します。
28	0~127	現在のメモリのレベルを設定します。
29	0: オフ 1~18: 白 19~36: 赤 37~54: 青 55~72: 緑 73~90: 黄 91~108: 青緑 109~127: 赤紫	LEDリングの色を設定します。

**ご注意:**

Line 6, Helix, POD, POD Farm と StageSource は米国および他の国々で登録されたLine 6, Inc. の商標です。Powercab及びL6 LINKはLine 6, Incの登録商標です。無断複製禁止

Apple, Mac, OS X, macOS, iPhone, iPadとiTunes は米国および他の国々で登録されたApple Inc. の商標です。iOS とは米国および他の国々で登録されたCiscoの商標です。Appleは、この機器操作または、安全規制規準に関する一切の責任を負いません。Windows は米国及び他の国々で登録された Microsoft Corporation の商標です。YouTube はGoogle, Incの商標です。

シリアル番号: \_\_\_\_\_



輸入発売元  
株式会社ヤマハミュージックジャパン  
LM営業部 ギター営業推進課  
〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11  
TEL 03-5488-6195  
line6.jp